



SERIES

2026

高校専用商品

2025年
1月中旬
刊行

共通テスト 対策問題集 I シリーズ

解法重視の分野・形式別問題集

Iシリーズの特長

- 1 分野・出題形式別の構成なので、 授業で活用できる PDFデータ提供
習った単元から対策できます。



- 2 3段階の難易度設定なので、スムーズにステップアップでき、
習熟度に合った問題から取り組むことも可能です。

☆☆☆……やや易
☆☆☆……標準
☆☆☆……やや難

- 3 標準解答時間を設定、時間を意識して取り組みます。

英語[リーディング]

☆☆ 解答時間
5分

こんな課題を
持っている先生に
おすすめ！

- 共通テストの早期意識づけ、出題形式・内容に慣れさせたい！
- 不得意な形式や分野を克服させたい！
- 基礎固めから、ステップアップさせたい！
- 春休み中の課題として利用したい！

河合出版
共通テスト対策シリーズ

基礎力養成

共通テスト対策問題集 I

実戦演習

共通テスト直前対策問題集 J

総仕上げ

共通テストK-バック

河合塾

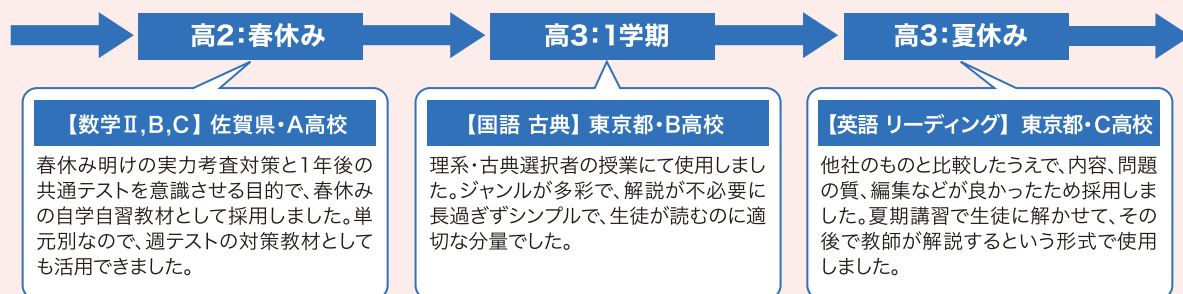
1. 共通テストを想定した出題構成

< > : 問題数

Vol.1 英語 [リーディング]	Vol.2 数学Ⅰ, 数学A	Vol.3 数学Ⅱ, 数学B, 数学C	Vol.4 国語 現代文	Vol.5 国語 古典[古文・漢文]
問題数 37題	問題数 74題	問題数 115題	問題数 22題	問題数 26題
税込価格 1,100円	税込価格 1,100円	税込価格 1,100円	税込価格 1,100円	税込価格 1,100円
1. 広告・メッセージ(6) 2. ウェブサイト(7) 3. ブログ・記事コメント・会話(7) 4. 図表(6) 5. 小説・伝記(5) 6. 論説文(6)	1. 数と式(14) 2. 2次関数(13) 3. 図形と計量(11) 4. データの分析(7) 5. 場合の数と確率(15) 6. 図形の性質(14)	1. 方程式・式と証明(12) 2. 図形と方程式(12) 3. 三角関数(12) 4. 指数・対数(11) 5. 微分・積分(16) 6. 数列(14) 7. 統計的な推測(13) 8. ベクトル(14) 9. 平面上の曲線と複素数平面(11)	1. 論理的文章(10) 2. 文学的文章(10) 3. 実用的文章(2)	1. 古文(13) 2. 漢文(13)

2. 活用時期×採用高校の声

共通テスト対策として、高2の春から入試直前まで活用いただけます。



3. 授業での活用方法

英語 [リーディング]

共通テスト「リーディング」では、80分の間に多くの問題を解かなければなりません。最初からいきなり全部通して解くことは負担が大きいため、**大問ごとに時間配分を設定し、慣れておく必要があります。**



- 1 標準解答時間を意識して**
各分野の問題に取り組ませる。

★ ★ ★
解答時間
5分



共通テスト特有のジャンルや内容に慣れ、時間感覚を養ってください。

- 2 解答解説に掲載されている語句リストの基礎的な単語や熟語のテストで語彙力強化する。**



間違えた問題や苦手な分野があれば、集中的に解かせます。
解いたら必ず解説をチェックさせてください。

数学

生徒が最初に取り組むときは、すでに学習を終えている高等学校の教科書を参照しながら取り組むことをおすすめします。
授業と本問題集の学習がうまく連携すると効率が上がります。



- 1** 基本問題のレベルは先生が解説しないで、生徒自身が解説を読んで理解できるようにする。(宿題にしてもOK)

- 2** 演習問題A/Bは授業中に標準解答時間を意識して解かせ、生徒に説明をさせる。B問題は、場合によって先生が説明をしてください。

B	解答時間 15分
---	-------------



正確な解法を身に付けることで回り道や勘違いがないように指導してください。



基本問題とA問題は数学の学力の土台をつくってくれます。

高校3年生の夏休み前に必要なすべての分野の基本問題と演習問題Aを確実に正解できるようにしておくと、その後に実力の大きな伸びが期待できます。

国語 古典(古文)

古文編は全13回を難易度順に配列し、さらに学習目的別に分類できるので、授業の中で扱う問題を選ぶことができます。



目的(タイプ)	大問番号
基本的な読解力を養成する	1・2・3・4
複数テキストを組み合わせで読解する	1・2・3・6・7・9・11・12
本文中の難解な表現を別の文章をもとに読解する	5
本文中の和歌の表現と内容を別の和歌と比較して読解する	10
その他の組み合わせ読み	8・13

- 1** 標準解答時間で解かせる。
解答時間が足りなかった場合は、速読・速解の練習をさせます。

☆ ★	解答時間 20分
--------	-------------

- 2** 時間にとらわれずにじっくり考えてもう一度解答させる。



解説を見ないで答え合わせをします。その後に解説を読んで、自分が考えた内容と解説の内容を比べさせ、間違えた理由を分類させます。

A

知識不足による間違い

単語力・文法力・古文常識力など何が不足しているのかを認識させる。

B

読解力不足による間違い

知識はあったのに読み間違えてるのであれば、読解力が不足していることを認識させる。

C

選択肢から選ぶ際の間違い

知識や読解力はあったのに解答が間違えているのであれば、解答選択過程での吟味が不足していることを認識させる。



講義をする場合は....。

- ・大多数の生徒が正解しているのに間違えた生徒には、それを認識させます。
- ・間違いが多い設問について、なぜ間違えるのかを重点的に講義するのがおすすめです。

